

親子でカレー作り挑戦

JAひだ
料理教室 飛驒トマトなど活用

高山市

高山市冬頭町のJAひだ飛驒農業管理センターで、夏休み親子料理教室が開かれ、親子が料理研究家の宮本和秀さんから手ほどきを受けながら地域の食材を使ったドライカレー作りなどに挑戦した。



ドライカレー作りなどに挑戦する親子ら＝高山市冬頭町、JAひだ飛驒農業管理センター

JA岐阜中央会主催、JAひだ共催。JAグループが進める「国産農畜産物推進・日本農業理解促進運動」みんなのよい食プロジェクト「啓発キャンペーン」の一環で開かれ、同市と飛驒市の小学3～6年生と保護者計10組24人が参加した。参加した親子は、飛驒トマトと野菜のドライカレー、カボチャのプリン、夏野菜サラダの3品の調理にチャレンジ。宮本さんからプロならではの調理の知恵などを優しくアドバイスされながら、親子

で協力して食材を切り味わった後、子どもたちもた護者が宮本さんの食育たり炒めたりした。ちが食農クイズやゲームに関する特別講義に聞出来上がった料理をムを楽しんだほか、保き入った。(佐竹直人)